

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 美作市		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒707-8501 岡山県美作市栄町38-2	
本票作成	部署名：市民部くらし安全課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	公共サービスの提供、公共施設の運営等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	美作クリーンセンター		岡山県美作市杉原340	
	2	大原病院		岡山県美作市古町1771-9	
	3	大芦高原温泉雲海		岡山県美作市上山1735	
	4	美作浄化センター		岡山県美作市湯郷932	
	5	美作浄水場		岡山県美作市櫛原下160-1	
6	美作市役所		岡山県美作市栄町38-2		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 208 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 7 年度 (2 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 7 年度)					
	16,042 t CO ₂			15,721 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	1	美作クリーンセンター		4,059 t CO ₂					
	2	大原病院		930 t CO ₂					
	3	大芦高原温泉雲海		712 t CO ₂					
	4	美作浄化センター		580 t CO ₂					
	5	美作浄水場		494 t CO ₂					
6	美作市役所		404 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

美作市の温室効果ガス排出量は、市役所以外の生活に密接した事業所（廃棄物処理施設、水道施設、観光施設等）が主な排出の割合を占めており、人口減による需要量の低下により減少していることが推測される。また、美作クリーンセンターで焼却される可燃ごみに含まれるプラスチックごみの割合が非常に低く、プラスチック製容器包装類などの適切な分別が推進されていることにより、全国的な水準よりもプラスチックごみの焼却が少ないとも評価できる。

【目標削減率達成のための推進体制】

温室効果ガス排出量の削減に向けて、市職員の主体的な取り組みに加え、組織的な計画推進や目標達成状況の管理が求められることから、市長をトップとした組織体制を整備し、「美作市温暖化対策推進本部」のもと継続的な実行計画の評価、改善を行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
美作クリーンセンター 大原病院 美作浄化センター 大芦高原温泉雲海 美作浄水場 美作市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯、トイレや利用者のいない場所の消灯 ・高燃費、ハイブリッド車を中心とした環境負荷の少ない公用車の購入 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・毎年2回のノーマイカーデー実施 ・事務用品の詰め替え品利用やリサイクル可能な消耗品の購入 ・物品の再利用や修理による長期利用 ・廃棄物の分別の徹底に努め、ごみの減量化を図る

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
美作クリーンセンター 大原病院 美作浄化センター 大芦高原温泉雲海 美作浄水場 美作市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の修繕を行う際は、現状より高効率な機器に更新する また、関連計画等の整合を取りながら、計画的に回収更新を図る ・電気製品等の物品の購入、リース、レンタルと行う場合は、省エネタイプで環境負荷のつくらないものの購入に努める。 ・公用車は、燃費のよい車種や低公害車を優先的に採用するとともに、運転者はエコドライブに努める。 ・職員への地球温暖化対策に係る情報の提供を行うとともに、研修を実施し意識啓発を図る。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	企業との共同森づくり事業：美作市が所有する森林を森林保全活動に取り組もうとする企業に提供し、森林の育成活動に努める活動。現在2社の企業と取り組みをむずび、美作市上山の市有林を提供し、森林保全活動に取り組んでいる。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	美作アリーナ・勝田総合支所に太陽光パネルを導入、勝田・大原・東栗倉総合支所に薪ストーブを設置。自立災害拠点としての能力向上及び再生可能エネルギーの導入による温室効果ガスの低減を目指している。
その他	無	

【その他特記事項】

--